



岩手県立中央病院

ふれあい



基本理念

高度急性期医療を推進する県民に信頼される親切であたたかい病院

目次

2018 年年頭のごあいさつ	院長 望月 泉	2
健康講座より 昔からあった発達障害	小児科医長 西野 美奈子	3
PET 検診について	放射線診断科長 及川 茂夫	4, 5
「リンパ浮腫外来」を行っております	理学療法士、リンパ浮腫療法士 中虫壁 浩由	6, 7
クリスマスコンサートを開催しました	福利厚生委員会 今野 望	8
編集後記	広報委員長 島岡 理	8

【行動指針】

1. 良質な医療の提供
2. 優れた医療人の育成
3. 地域医療機関への診療支援
4. 救急医療の充実
5. 災害医療の体制整備
6. 臨床研修体制の充実
7. 健全で効率的な病院経営



2018年の年頭にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。今年は診療報酬・介護報酬の同時改定が行われる年です。注目の診療報酬本体の改定率は+0.55%と決まり、これから詳細が決まっていきます。改定の基本的視点は4点あり、1. 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進 2. 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実 3. 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進 4. 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能の向上です。患者や家族、医師らが治療方針などを繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」に取り組むよう求められ、患者の思いを家族や医師が共有し、本人が望む「最期」を迎えられるようにすることが望まれます。このACPについては、2月17日（土）午後2時からプラザおでつにて開催する中央病院健康講座で取り上げます。お時間がありましたら是非ご参加いただくと幸いです。人生最終段階でのあるべき姿を皆様とともに考えて行きたいと思えます。

今年やりたいこと、やるべきことはまず第1に院内改修工事です。築30年を経過し、救急患者の増加とともに手狭になった救急室の拡張工事は必須です。同時に救急室の隣に経過観察入院のためのER病床10床を新設したいと思えます。ハイブリット手術室の新設、透析室の拡張等も喫緊の課題と思えます。第2に高額医療機器の整備です。昨年CTは1台が最新鋭の320列に更新できましたが、今年はMRIを1台更新したいと考えています。また、経営の質ばかりでなく医療の質の向上もきわめて大事です。さまざまなクリニカルインディケーターをベンチマーク分析していますが、患者さんの待ち時間対策は重要です。各外来に大型液晶モニターを導入し、診察予定時間、そのための待ち時間が一目でわかるようにします。

私もこの3月で定年を迎えますが、この病院に勤務することができ、本当に良かった、充実した人生であったと思えるような病院作りが大切です。勤務環境の整備、職員満足度の向上です。患者満足度は職員満足度が上がらなければ決して向上しないと思えます。また、高度急性期医療の中でどうしても後回しにされそうになる「心」を医療の提供者として常に年頭において行動しなければなりません。言い換えれば、患者さん、人間に対する愛情です。もしそうでなければどんなに質の高い医療を提供しても理解されませんし、われわれの基本理念そのものもが実現できなくなります。

最後に全職員が「変革 Change」と「われわれはできる Yes, We can」の精神で真摯に取り組んでいただきたいと思えます。

以上、年頭にあたりのごあいさつとさせていただきます。

○リンパ浮腫とは？

人の体には、動脈や静脈という血管のほかに「リンパ管」という管があります。このリンパ管は血管に絡まるようにして、全身のありとあらゆるところを巡っています。リンパ管には「リンパ液」という濃度の濃いたんぱく質や脂肪を含んだ液が流れています。その流れの途中である首・脇の下・脚の付け根に「リンパ節」という中継地点があり、リンパ液はこのリンパ節を必ず経由して心臓へ流れていきます。

乳がんや子宮がん、前立腺がん等のがん治療において、リンパ節郭清や放射線治療などによりリンパ節に何らかの障害が起きることでリンパ液の流れが滞り、リンパ液が溜まって腕や足が徐々にむくんでくる状態を「リンパ浮腫」といいます。

症状としては、手足がむくんでこわばる、違和感がある、衣服の痕がつく、皮膚のしわが減る（消える）、血管が見えにくくなる、服が窮屈、動きにくい、痛みがあるなどがあります。リンパ浮腫の初期では安静、締め付けのない衣服の着用、腕・足を挙げておくこと等で軽快しますが、進行すると軽快しにくくなってきます。

むくみの原因は、リンパ節以外にも心不全や腎不全、深部静脈血栓症等の病気によるものがあり治療法が異なりますので、専門医を受診し、むくみの原因を把握しておく必要があります。

○リンパ浮腫の治療法

リンパ浮腫の治療は、リハビリテーション専門医の診察のもと「複合的理学療法」の基本となる「スキンケア」、「リンパドレナージ」、「圧迫療法」、「運動療法」の4本の柱から構成されています。ここではスキンケアとリンパドレナージについて紹介致します。

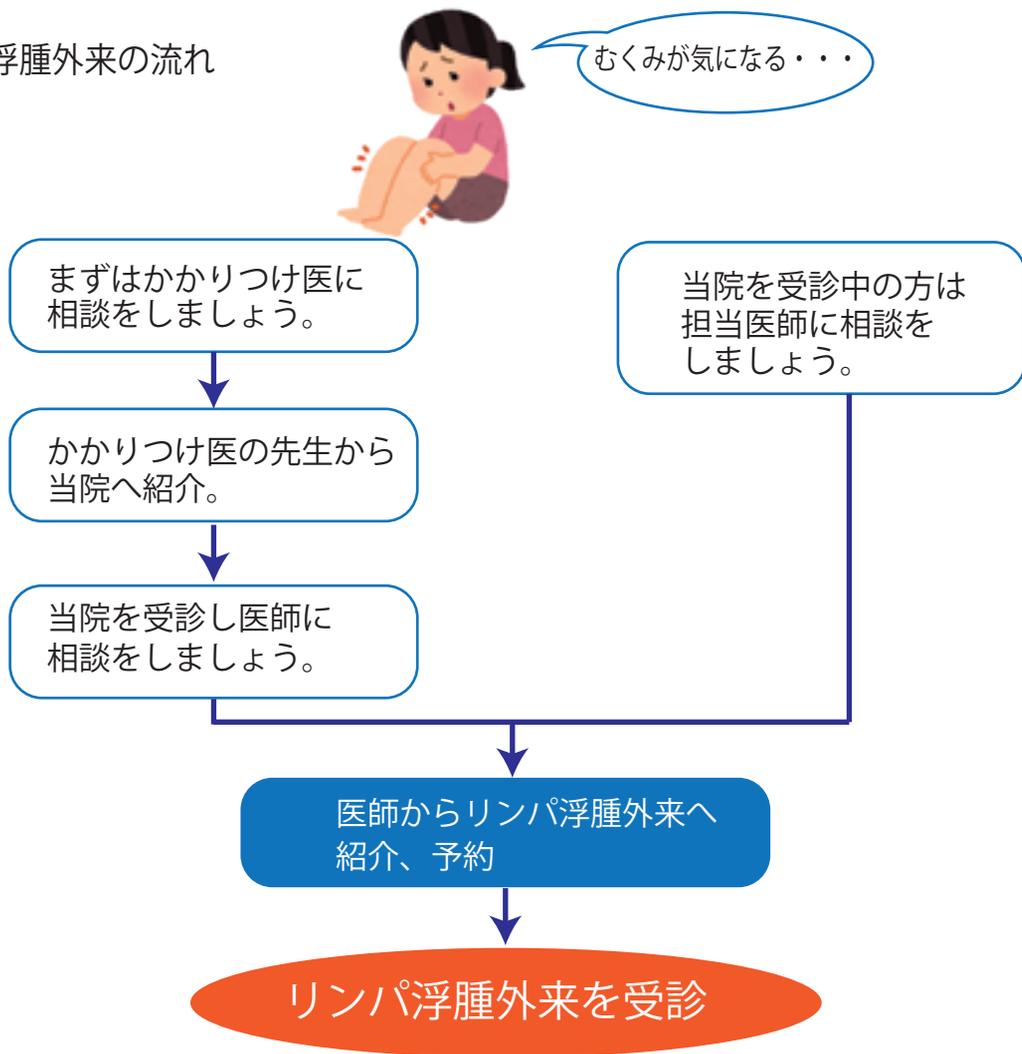
①スキンケア

リンパ浮腫になると、皮膚の表面にあるセラミドが損なわれ乾燥しやすくなります。皮膚が乾燥すると皮膚バリア機能が低下し細菌感染を起こしやすくなり、傷もないのに炎症を起こしリンパ浮腫の悪化を引き起こす可能性があります。これらを防ぐために、日頃から皮膚を傷つけず、清潔を保つように心がけクリームやローションで保湿することが大切となります。

②リンパドレナージ（セルフマッサージ）

リンパドレナージは、患部だけでなく周囲の皮膚や体全体のリンパ管の働きをよくすることで滞っているリンパ液の流れを促します。なるべく皮膚に直接手のひらを当て、やさしくゆっくりと動かします。動かし方は皮膚を「ずらす動き」と部位全体をさするように移動させる「流す」動きの2つのパターンを組み合わせで行います。

○リンパ浮腫外来の流れ



○リンパ浮腫外来の診療体制

リハビリテーション専門医の診療のもと、リンパ浮腫治療の資格を有するリハビリテーションスタッフが対応しております。

各診療科からの依頼を受ける形での完全予約制です。

診察日及び時間：水曜日（祝日、年末年始除く）

13:15～2名、14:45～2名、16:15～2名

所用時間：1名あたり60～80分

費用：保険診療外での対応となり、1回あたり5,210円の自己負担になっております。



むくみのことでお悩みの方はいつでもご相談ください。

担当：中虫壁 浩由・中沼 華澄

最近の教育現場では注意欠如多動症（ADHD）、自閉スペクトラム症（ASD）、学習障害（LD）は10% ずついるといわれています。脳に先天的な器質的な原因があり、日常生活において困った症状があります。生活障害と呼ぶ Dr もいて、適応の程度は周囲との関わりで幅が生じます。ゆえに周囲のソフト（やり方）・ハード（物質）両面のシステムを暮らしやすく変える環境調整が第一に必要なってきます。

ADHD さんとはとにかくいつも動いている子（多動性）、待てないでやってしまう子（衝動性）、ボーッとしている子（不注意）が特徴です。自分のことや知人で思い当たる人はたくさんいると思います。昔からそんな子はいて、その個性を理解され、うまくいくように対応をされてきました。現在は症状を抑える薬が登場したので、「病院へ行け」と言われてしまいます。内服治療をしたほうがいい状態は、多動衝動性や不注意のために失敗が続いて落ち込んで生きていくのがしんどい、という状態です。失敗が続いて周囲からの評価が下がり、立場が危うくなっていることに気づかない親子もいます。内服を開始してもお薬ですべて解決できるというわけではなく、家庭と学校においてやりやすいシステム作りの配慮は必要です。さらにお薬とシステム作りを任せおしまいではなく、親の知識付けと有効な対応方法を学ぶこと（ペアレントトレーニングもしくはペアレントプログラム）と、本人が自身の特性を知り、努力の姿勢を見せ、周囲に協力をお願いすることが欠かせないと考えます。

落ち着きがないということはエネルギーでパワフルということ。不注意はひとつの考えにとらわれないと見ることもできます。

世の中の進歩に大きく貢献した偉人には ADHD さんがたくさんいます。視点をずらして、短所と思える性質でも長所に変えてしまうことを「リフレーミング」と言います。子育てしていると毎日いっぱいっぴいっぴいです。あれもできない、これもできていないと思っても、ご飯を食べさせて安全な居場所を提供できれば合格と思います。あとは大人があれこれ考えていても、こどもは遠慮なく勝手に育っていきます。体力気力鍛えてついていきましょう。





クリスマスコンサートを開催しました

福利厚生委員会 今野 望

12月19日、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。

最初に登場したのは、あゆみ保育所の子どもたちです。「ゆきのペンキやさん」と「赤鼻のトナカイ」の2曲を元気いっぱいに歌ってくれました。歌い終わると、サプライズで2人のサンタが登場。会場の子もたち皆にプレゼントを渡しました。

次に、主浜みきさんによる歌謡芝居「九段の母」が披露されました。主浜さんは各地で慰問活動を行っていらっしゃるようで、息子を失った母を熱演され、その世界に引き込まれました。

続きまして、当院のボランティアひまわりと職員の登場です。ピアノによる「クリスマスメロデー」、ハンドベルと合唱による「もろびとこぞりて」の後は、会場の皆さんにもマラカスなどの楽器を配り、「雪」を一緒に歌いました。皆さん思い思いに楽器を振っていただいて、楽しいひと時となりました。

最後に登場したのは、上田中学校の生徒です。クリスマスソングを4曲歌った後、会場の皆さんにカードをプレゼントしてくれました。そのあと、「生命がはばたくとき」、「大地讃頌」が披露され、素晴らしい歌声に会場中が聞き入っていました。

コンサートに参加して下さった皆様、どうもありがとうございました。



編 集 後 記

本年は戌年、正確には「戌戌」（つちのえ・いぬ）年であって、「戌」は「茂」を表し植物が絶頂の状態であることを表します。一方で「戌」は動物の「犬」とは意味的關係なく元々は「滅」という文字で全てのものが土の中へ帰って行くような状態を表し、作物を刈り取り一まとめに締めくくる意味があるようです。そのことから戌戌年は良いことと悪いことがはっきりと分かれ、草木が再生する為に地に帰るように不要なものは切り捨て、新たなチャンスを得ることに繋がっていくことが予想されるみたいです。できればそういった変動に惑わされず、我が身をどっしりと構えていくのが良さそうですね。

さて当院は、上ノ橋にあった旧病院から現在の旧専売公社跡に移転してから30年経ちました。移転当初は目の前の広い道路は今の押しボタン式横断歩道の部分で行き止まりになっており、周囲は空き地だらけでした。研修医宿舎までは石コロだらけの駐車場が広がっており、周囲に食べる所は大森食堂くらいしか無かったと記憶しております。その頃から比べますと医療も診療体制も格段に進歩し現在に至っておりますが、干支に左右されず、日夜変わらぬよりよい医療を県民に提供すべくこれからも自己研鑽していきたいと思っております。本年もよろしくお願い申し上げます。



おしらせ

次回の健康講座は・・・

もしものために、
自分の思いを大切な人に
伝えよう

平成30年2月17日(土)
14:00～16:30
プラザおでってで開催します。
多くの方のご参加をお待ちしております。



 岩手県立中央病院

〒020-0066 岩手県盛岡市上田1-4-1
TEL:019-653-1151 FAX:019-653-2528
<http://www.chuo-hp.jp>

ふれあい No.280 平成30年1月発行
中央病院広報委員会

◆委員長 島岡 理

相馬 淳	吉田 朗
吉川 和寛	照井 彰子
下川原 裕見子	城戸 直人
佐々木 貴美子	藤原 綾乃
片岸 久	小笠原 学
岩淵 ひろ絵	大久保 拓也
菊池 莉栄	吉田 奈穂子

「ふれあい」はホームページでもご覧いただけます。



放射線診断科長 及川 茂夫

当院では、H21年に保険診療としてのPETが導入され、悪性疾患の診断やその治療効果の評価等に極めて重要な役割を担ってきました。そしてこの度、昨年の10

月よりこのPETによる検診も開始いたしましたのでご案内いたします。

PETとは、Positron Emission Tomography（陽電子放出断層撮影）の略で、放射性物質を含む薬剤を注射して、体内から発信される放射線（信号）を検出して画像化する核医学検査の一種です。薬剤の体内各部位での分布は、その部位で行われる代謝を反映するので、特定の臓器や疾患に集まりやすい検査薬を用いることで、様々な疾患の診断が可能となります。

がん検査に現在最も多く用いられているのが、18F-FDG（フルオロデオキシグルコース）とよばれる検査薬です。これは、「通常のがん細胞は正常細胞よりもブドウ糖の消費量が3-8倍多い」という特性を利用しています。18F-FDGはブドウ糖の類似物質であり、その集積が強い部位は、ブドウ糖消費量が多いことを示し、そこのがん細胞が存在する可能性が高いと考えられるのです。そして、「がん細胞が密なものほど」「増殖速度の速いものほど」「悪性度が高いものほど」18F-FDGはよく集積します。

PETは、がんの代謝を「機能」的に診断する方法ですが、この画像に「形態」的診断画像であるCTを併用することで、さらに鮮明で詳細な分析が可能となります。これを、PET/CT検査といい、通常PET検査は、PET/CT検査とほぼ同義として扱われます。

PET検診は、苦痛を伴わずに全身を検査し、がんの診断や進行度、病期診断までが可能となり得る画期的な検査法であり、統計では全受診者の1～2%に「がん」が見つかるかとされています。これは他の検診と比べて圧倒的に高い数値で、特に頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がん、大腸がん、膵臓がん、悪性リンパ腫、卵巣がん、子宮体がん等の検出に威力を発揮します。

しかしながら、PETには限界や弱点もいくつかあります。それには、①胃や肝臓の早期がんや10mm以下の小さながん、あるいはブドウ糖の取り込みの少ないがんなどの発見が難しい、②18F-FDGがもともと集積しやすい脳や肝臓、腎臓、膀胱などのがんを見つけにくい、③がん以外の病変（良性腫瘍や炎症）にも集積することがある、④検査前のしっかりとした絶食が必要で、血糖値が高い場合の診断が難しい、⑤放射性物質による被ばくを伴う、⑥撮影後、放射線の影響が弱まるまで30-60分程度別室で待機しなければならない、等が挙げられます。①や②の疾患は、内視鏡やMRIその他の検査の方が有用とされます。よって、PETはそれ一つのみでは決して万能な検査ではなく、がん検診にはPETと他の検査を含めた総合的な評価が必要となります。

PET検診をご希望される方は、これらの長所や短所を十分にご理解の上、お申し込みくださいますよう、お願い申し上げます。



PET 検診について



左肺に肺がんが認められる（→）。PET画像では右の骨盤にもFDGの集積がある（⇨）。これはCT画像では不明瞭だが、PET/CT画像で骨転移であることがわかる。脳には生理的な集積がみられる（△）。

PET 検診の申し込み方法

当院のPET検診は完全予約制です。予約方法は電話予約のみとなっております、ご希望日の2週間前までに、医事経営課 医務係 検診担当（内線 2107）までお申し込みください。（受付時間：平日9：00～16：00（祝日を除く））

PET 検診の申し込み後

電話にて申し込み頂いた後は、「PET検診確認書」及び「PET検診説明および同意書」をご指定された住所宛にお送りいたしますので、ご記入のうえ同封の返信用封筒にてご返送ください。

検診料金について

PET検診：107,540円（税込）

・検診料金は検診当日に、検診実施前の受付終了後お支払いいただきます。現金払いのほか各種クレジットカード（VISA, JCB）のお取扱いが可能です。

キャンセル料について

・検診前日の正午以降にキャンセルされた場合、キャンセル料（検査用薬剤料）として48,816円（税込）をご負担いただきます。

【理由】

PET検診で使用している薬剤（FDG）は、薬剤としての寿命が大変短く、他の検査へ代用することができないため、廃棄することになってしまいます。そのため、薬剤（FDG）代金としてキャンセル料をご負担いただきます。

・検査前日が土日祝日の場合は、土日祝日の前日正午までにご連絡ください。

例）検査日が月曜日の場合、金曜日正午まで。

・キャンセルのご連絡が前日正午以降となった場合のほか、キャンセルのご連絡がなく、検診当日に来院せずキャンセルとなった場合にも、キャンセル料をお支払いいただきます。